

科目名	管楽合奏 I～VIII A	形態	実習 オム ニバ ス	開講期	春・秋
担当教員	露木 薫・上田 仁・亀山 吉彦	単位	1	年次	1, 2, 3, 4

＝授業のテーマ及び到達目標＝

様々な金管アンサンブルでの演奏を通じて金管アンサンブルの変遷について学び、アンサンブルの中でのより高度な表現力を身につける事を目標とする。金管アンサンブルのレパートリーについても広く学んでいく。

＝履修の条件と学習の方法＝

管楽コース（金管）の学生に限る。その他のコースの学生が履修を希望する場合には楽器の演奏技能によって判断する。一つのパートが欠けることによりアンサンブルが成り立たなくなるため、自分のパートに責任を持って授業に臨む事。事前にグループごとのリハーサルを行ってから授業に臨む事。

＝授業内容＝

（春・秋）

- 1回 シラバス（授業の目標や内容）の確認
グループ組み合わせ、曲目の決定
- 2回 それぞれのグループ・組み合わせの指導（その1）
- 3回 それぞれのグループ・組み合わせの指導（その2）
- 4回 それぞれのグループ・組み合わせの指導（その3）
- 5回 それぞれのグループ・組み合わせの指導（その4）
- 6回 それぞれのグループ・組み合わせの指導（その5）
- 7回 それぞれのグループ・組み合わせの指導（その6）
- 8回 それぞれのグループ・組み合わせの指導（その7）
- 9回 それぞれのグループ・組み合わせの指導（その8）
- 10回 それぞれのグループ・組み合わせの指導（その9）
- 11回 それぞれのグループ・組み合わせの指導（その10）
- 12回 それぞれのグループ・組み合わせの指導（その11）
- 13回 それぞれのグループ・組み合わせの指導（その12）
- 14回 それぞれのグループ・組み合わせの指導（その13）
- 15回 授業成果の発表

＝成績評価の方法と評価の基準＝

積極的に演奏へ加わること。
授業への出席状況、および参加姿勢、習熟度によって総合的に評価する。

＝テキスト（必携）＝

その都度指示する。

